



2026年6月19日

各 位

会社名： サツドラホールディングス株式会社  
代表者名： 代表取締役社長 CEO 富山 浩樹  
(コード：3544 東証 スタンダード・札証)  
問合せ先： 取締役 CFO 小西 憲明  
(TEL. 011-788-5166)

### 特別損失の計上及び業績予想値と決算値との差異に関するお知らせ

当社グループでは、2026年5月期（2025年5月16日～2026年5月15日）において、特別損失を計上するとともに、2026年3月19日に公表した2026年5月期の業績予想値と本日公表の決算値に差異が生じたので、下記の通りお知らせいたします。

#### 記

#### 1. 特別損失の計上について

当社の連結子会社である株式会社サッポロドラッグストアが保有する店舗の固定資産について、収益性の低下による減損の兆候が認められたことから、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき固定資産の回収可能性を検討した結果、減損損失 453 百万円を計上いたしました。

#### 2. 業績予想値と決算値との差異（2025年5月16日～2026年5月15日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	100,500	1,100	1,000	400	29.04
決算値 (B)	100,571	1,458	1,351	434	31.55
増減額 (B-A)	71	358	351	34	-
増減率 (%)	0.1	32.6	35.1	8.6	-
(参考) 前期実績 (2025年5月期)	100,174	1,675	1,648	767	55.54

#### 3. 差異の理由

売上高は前回発表予想と概ね同水準となった一方、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、前回発表予想を上回る結果となりました。

売上面では、主力事業であるドラッグストア事業において、既存店客数は引き続き厳しい状況で推移したものの、客単価は堅調に推移いたしました。また、インバウンド需要につきましては、中国からの来店需要の減少が想定より軽微であったことに加え、台湾をはじめとするアジア諸外国からの来店需要が堅調に推移し、客単価も上昇したことから、売上高は前回発表予想どおりの水準で推移いたしました。

利益面では、インバウンド関連収益が想定を上回って推移したことに加え、販売費及び一般管理費につきまして、次年度以降の収益基盤強化に向けたシステム投資案件の一部について実施時期を見直したこと等により、費用の発生が一部抑制されました。この結果、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益は前回発表予想を上回る結果となりました。

以上